

サステナブルコンソーシアム北海道 第1回資源利用勉強会 実施報告

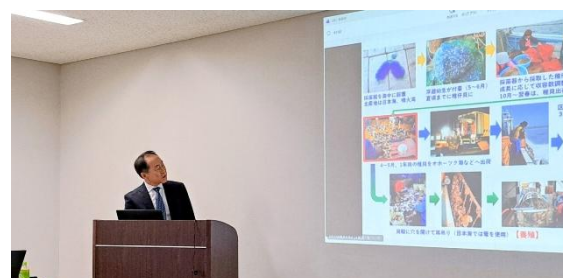
2025 年12 月4 日(木)にコンソーシアムが主催する資源利用に関する勉強会を開催しました。各領域の有識者の方を講師としてお招きし、我が国の資源管理のあり方や海洋環境への対応、ブルーカーボンについてご解説いただき、北海道水産業を取り巻く現在の状況についての理解を深めるよい機会となりました。コンソーシアムとしても引き続き、今回のテーマについて参加企業の皆様、関係者様と協力し、課題解決の一助となることを目指します。

開会ご挨拶

勉強会の開催にあたり、サステナブルコンソーシアム北海道の高橋会長よりご挨拶をいただきました。我が国において、漁獲量が減少する一方、水産物の単価が高騰している現状や、国際会議での他国の出席者が若く闊達である点を踏まえ、国内水産業の現状と危惧について共有をいただき、本勉強会での活発な意見交換を期待する旨についてご挨拶いただきました。

講演①激変する海洋環境へどう対応するのか

一般社団法人北海道水産会代表理事副会長山口修司様よりご講演をいただきました。山口様からは、北海道水産業の生産動向の推移と現状についてご共有いただくとともに、海洋環境の変化の著しさについてもお話しいただきました。また、栽培漁業に対する影響度の高さとそれに対する対策についてもご教授いただき、北海道水産業を取り巻く環境について出席者の理解を深めました。



一般社団法人北海道水産会 代表理事副会長
山口 修司様

講演②海面における北海道の漁業の課題と将来

学習院大学法学部教授の阪口様からはサステナブルに成長する水産業のポイントについて解説いただきました。また資源管理についてはTAC管理や北海道による管理、また資源管理協定による自主的な取り組みについてもお話しいただきました。また水産行政プロセスや区画漁業権免許など行政視点での課題についても提起いただき、出席者の問題認識を深めました。



学習院大学法学部 教授 阪口 功様

講演③サステナブル漁業とブルーカーボンについて

株式会社UMITO Partners代表取締役の村上様からは、サステナブル漁業とブルーカーボンの関係性などについてお話しいただきました。なぜ今この論点が求められているのかといった背景からカーボנקレジット制度の解説とその市場の現状について共有いただきました。関連するプロジェクトについて事例としてお話しいただき、水産業におけるホットイシューであるブルーカーボンについて理解を進めることができました。



株式会社UMITO Partners 代表取締役 村上 春二
様(オンラインでのご参加)

意見交換

講演後、参加者全員での意見交換が行われました。海外において水産業が成長産業である理由や資源管理やサステナビリティに対する各ステークホルダーの意識向上についての重要性などについて活発に意見が交わされました。



第2回勉強会は2026年2月に実施予定です。日程・テーマなど決まりましたら改めてご周知いたします
また、2026年3月12日にサステナブルコンソーシアム北海道のシンポジウムを実施予定です。こちらも改めてご告知いたします